



もとみや 議会だより

第56号
令和元年5月発行

へそへそパワー!!
(糠沢幼稚園)

新年度予算審査.....P.2~5
視察研修報告(広報広聴).....P.9
市民との意見交換会対応報告.....P.10~12

本宮市議会 ホームページアドレス <http://www.city.motomiya.lg.jp/site/gikai/>
メールアドレス gikai@city.motomiya.lg.jp

3千万円



市民一人当たり
約 57 万円

※ H31.3.31 の住民基本台帳人口 30,423 人

農林水産業費 24億1,865万円

市民一人当たり 7万9,501円

3



農業支援やため池除染に

民生費 38億6,007万円

市民一人当たり 12万6,880円

1



子ども・高齢者福祉に

衛生費 18億1,866万円
市民一人当たり 5万9,779円
健康増進や環境整備に

総務費 15億658万円
市民一人当たり 4万9,521円
職員給与や定住対策に

教育費 14億4,981万円
市民一人当たり 4万7,655円
学校教育や国際交流に

公債費 10億7,381万円
市民一人当たり 3万5,296円
借金返済に

商工費 7億7,891万円
市民一人当たり 2万5,603円
商工業・観光振興に

消防費 7億2,289万円
市民一人当たり 2万3,761円
消防・防災対策に

議会費 1億8,858万円
市民一人当たり 6,199円
議員報酬・議会運営に

労働費・予備費等 7,367万円
市民一人当たり 2,422円

土木費 33億3,837万円

市民一人当たり 10万9,732円

2



道路整備・駅前整備に

31年度
予算

一般会計 172億

前年度比
0.4%の減

笑顔があふれ、人や地域がいきいきと輝くまちを目指して！



予算編成方針

「笑顔あふれる
人と地域が輝くまち
もとみや」

平成31年度の市政運営にあたっては、第2次総合計画をもとに、市民および地域の住みよさの維持・向上に取り組んでいくことを基本方針とし、特に次の施策に重点的に取り組んでいくとしています。

- ・ 保育支援・幼児教育・総合的支援の充実
- ・ 教育環境の整備・充実
- ・ 健康づくり・管理の推進
- ・ 医療体制の整備と充実
- ・ 保健福祉施設の整備・活用
- ・ 農業の振興
- ・ 商業の振興
- ・ 防災体制の整備
- ・ 都市および地域拠点の整備と機能強化
- ・ 国際交流・多文化共生推進
- ・ 情報の収集と発信

このような施策を進めていく上で、将来にわたる安定した財政運営に配慮し、地域や市民の皆様との協力関係を密にし、新たな一歩を踏み出していくとしています。

※5月1日より新元号「令和」が施行されましたが、審議や一般質問が3月に行われていることから、本紙内では「平成31年度」を使用しております。ご了承ください。

予算審査質疑 ピックアップ

総務費

移住定住体験モニターツアーの内容は

問 移住定住体験モニターツアーの具体的な内容は。また、宿泊の際には本市の農家民宿を利用するのか。

答 首都圏に居住している家族を対象に、本市での暮らしを体験していただき、その体験記を首都圏で発行されているフリーペーパーに掲載し、本市の魅力をPRする。

モニターツアーは1泊2日を予定しており、農家民宿での宿泊を想定して、経営者の方々と協議中である。

衛生費

出産ママタクシー代助成事業の内容は

問 家族の送迎等、自家用車での移動は対象外となっている。市外の医療機関への通院を想定するのであれば、ガソリン代の助成や現金で支給する方が効果的であると思うが、あえてタクシーとした理由は。

答 平日の日中など家族が付き添えない場合や、産後の1か月健診の際に小さな子どもを連れていくなど、自分で運転することが困難な場合を想定し、タクシー利用券の助成とした。



▲モニターツアー実施で本市の魅力をもPR（写真は現在配布している移住定住ガイドブック）

各会計予算額

一般会計		172 億 3,000 万円
国民健康保険 特別会計	(事業勘定) (直営診療施設勘定)	27 億 4,561 万円 8,954 万円
後期高齢者医療特別会計		2 億 9,182 万円
介護保険特別会計		26 億 9,842 万円
工業用地造成事業特別会計		5 億 9,442 万円
工業用地資産運用事業特別会計		1 億 1,462 万円
水道事業会計		17 億 2,503 万円
公共下水道事業会計		12 億 5,031 万円
総 計		267 億 3,977 万円

一般会計の歳入内訳

市税	44 億 5,895 万円
地方交付税	30 億 4,860 万円
国庫支出金	29 億 4,157 万円
繰入金	19 億 1,976 万円
市債	17 億 540 万円
県支出金	16 億 8,417 万円
地方消費税交付金	5 億 9,768 万円
地方譲与税	1 億 7,950 万円
分担金及び負担金	1 億 5,221 万円
その他(使用料等)	5 億 4,216 万円
総 計	172 億 3,000 万円

商工費

休日周遊バスの運行期間は

問 休日周遊バスについて、平成30年度は4月から11月の土日祝日での運行だったが、平成31年度は年間運行を考えているのか。また、公共施設を周遊コースに含める考えは。

答 休日周遊バスの運行期間は、4月上旬から11月中旬を予定しており、平成30年より前後一週間延ばしている。公共施設への停留については、平成30年8月から「あぶくま憩の家」「あだたら憩の家」をコースに加えており、平成30年度と同様の運行を考えている。



▲4月より運行を開始した休日周遊バス

教育費

国際交流に期待するものは

問 国際交流も3年目に入る。行政効果として何を期待して行うのか。



▲平成30年度の英国訪問の様子

答 事業開始当初より、子どもたちを英国に派遣し、異文化体験や現地の子どもたちとの交流を通して、国際性豊かな人材の育成を図る目的で一貫して進めている。また、2020年の東京オリンピック・パラリンピックにおいて、本市が英国の「復興『ありがとう』ホストタウン」になっていることから、オリンピック関係者や選手との関係構築を図り、震災後、元氣になった福島県や本市の姿を見ていただいて、世界に発信していただくという大きな目標がある。さらには、以前本市から派遣した子どもたちの中から、国連大使に選ばれた方もいる。大きな波及効果をもって、本宮を発信できていると考えているので、継続して取り組んでいきたい。

市長への総括質疑

平成31年度予算の思いは

問 平成31年度「第2次本宮市総合計画」の初年度でもある。新たな出発点として、どのような思いで予算編成をしたのか。

答 第2次本宮市総合計画の初年度としては、第1次総合計画を始めとした各種計画や、様々な事業の成果を整理し、震災後の8年間を検証してみなければならぬと考えている。財政健全化を堅持しながら、本宮の元氣を発信していくという思いに変わりは無い。今までの施策の検証をしながら、スタートを切っていきたい。

本市の産業をリードすべきと考えるが

問 将来を展望した本市の産業構造をどのように思っているのか。また、今後どのように産業をリードすべきと考えるか。

答 本市の産業においては、農業と商業において、後継者不足が問題となっている。これに対し、積極的に施策を展開していかなければならないと考えている。工業については、伸びが顕著であり、インターチェンジ周辺や白沢地区の非常に優れた土地を開発し、企業誘致をしていきたい。

外国人観光客の誘客は

問 本市は英国の「復興『ありがとう』ホストタウン」に選ばれており、また、4月からは新たに国際交流課が設置される。外国人観光客の誘客についてどのように考えるか。

答 インバウンドについては、全国各地で外国人旅行者の数が増加しているが、福島県の伸び率が少ないことがネックになっている。本市では、2020年の東京オリンピック・パラリンピックを控え、教育部に国際交流課を設置する。国際交流課のみならず、産業部とも連携して、パンフレット類の多言語化など、受け入れの下地づくりをしている状況である。将来的には商工観光部門でも英語が堪能な職員を配置し、インバウンドに取り組んでいきたい。

※インバウンド：外国人が日本を訪れてくる旅行のこと

電気自動車充電設備はだれのためのものか

問 電気自動車充電設備事業について、予算には実施設計分しか計上されていない。この設備が市民のためのものなのか、公用車用のものなのかもはっきりせず、全体の整備費用も定かになっていない。市長の考えは。

答 本来であれば、もっと早くこの事業に取り組みすべきであった。市の公用車には1台電気自動車があるが、公用車だけでなく、市民や付近を通る方も利用できるよう、有料式の充電設備を設置したいと考えている。

各会計予算など 29 議案を可決

3月 定例会

3月定例会（第2回本宮市議会定例会）は、市長から条例の制定や各会計予算など28議案と報告2件、議員からは発議1件が提出され、討論・採決を行った結果、全ての議案を原案通り可決しました。

また、請願1件、陳情1件が提出され、審議の結果、請願は採択、陳情は不採択と決定しました。

今議会には、平成31年度の各会計の予算が上程され、予算審査特別委員会を設置し、4日間にわたって集中審議を行いました。詳細は2ページから5ページに掲載されています。

一般会計補正予算

公共施設等汚染土壌移設業務委託料、米全量全袋調査事業補助金を増額

今議会に提出された平成30年度一般会計補正予算の主なものは、住宅等除染事業に係る公共施設等汚染土壌移設業務において、除染土壌のフレコン詰込み量の変更や破損による詰め替えにより、フレコンの数量が増加したことによる公共施設等汚染土壌移設業務委託料の増額や、平成30年産米の検査数量の決算見込みによる米全量全袋調査事業補助金の増額、その他、各種事業の決算見込みによる補正予算が計上されました。

また、財政調整基金や減債基金をはじめとする各種基金への積立金、障がい介護給付費負担金の増額分などが計上されています。

「教職員の長時間過密労働の解消に向けた意見書」を提出

福島県教職員組合安達支部から提出された「教職員の長時間過密労働の解消にむけ意見書提出を求める請願書」については、審査の結果、採択となり、内閣総理大臣等に対し、意見書を提出することとしました。

議案質疑

住宅使用料滞納の状況は

問 住宅使用料の滞納繰越分の収入額が590万円と高額となっている。何件滞納があり、全額収納できたのか。また、3か月以上の滞納で、市長名による明渡し請求を行った事例はあったか。

答 全体で30戸分の未納があり、そのうち3分の1程度である。当初の見込みの2倍以上が収納できた。3か月以上滞納している世帯に対しては、明渡し請求等は行わず、分納誓約を交わし、納付していただいている。

継続費の補正理由は

問 継続費の補正において、道路橋りょう費の平成31年度分が減額となっているが、理由は。

答 五百川跨線橋維持修繕事業にかかる経費のうち、平成31年度に残る工事費用の見込み額が確定したため、Jr負担金が減額となった。

平成30年度

一般会計補正予算

2億8,967万円を増額

《一般会計補正予算の主な内訳》

歳出

財政調整基金積立金 … 3億379万円

減債基金積立金 … 1億2,500万円

公共施設等汚染土壌移設業務委託料等 … 7,953万円

歳入

法人市民税(現年課税分) … 1億円

支障物件移転補償費 … 9,043万円

一般会計総額

207億530万円に

▲汚染土壌を掘り起こし、移設する。

人事 副市長の選任に同意

今定例会では、初日に教育委員会委員と固定資産評価審査委員会委員の任命について、議会最終日に副市長の選任について議案が上程されました。教育委員会委員と固定資産評価審査委員会委員の任命は全会一致で、副市長の選任は無記名投票の結果、賛成多数で同意しました。また、選挙管理委員会委員と補充員の選挙が行われ、次の方々が当選しています。

副市長(新任)

渡辺 正博 氏 (仁井田字小坂)

教育委員(再任)

古宮 博文 氏 (本宮字大町)

固定資産評価審査委員(再任)

鈴木 文男 氏 (荒井字荒井)

固定資産評価審査委員(新任)

渡邊 傳壽 氏 (白岩字関根)

伊藤 クニ 氏 (本宮字南町裡)

選挙管理委員会委員(再任)

佐々木 光一 氏 (本宮字欠下)

佐藤 安雄 氏 (和田字戸ノ内)

選挙管理委員会委員(新任)

松本 和子 氏 (本宮字万世)

石川 義弘 氏 (白岩字塩ノ崎)

同補充員(再任)

国分 豊 氏 (高木字滝ノ入)

同補充員(新任)

大内 俊子 氏 (長屋字作之介)

菅野 善太 氏 (長屋字一斗内)

松本 次男 氏 (青田字愛宕)

総務文教常任委員会



▲建設中の高木地区公民館（審査日現在）
（高木字舟場地内）

総務文教常任委員会には、本宮市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例のほか、議案2件、請願1件が付託されました。主な審議内容は、次のとおりです。

本宮市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正

遅出早出出勤の実績は

説明 国家公務員の超過勤務時間の上限を設ける人事院規則の改訂を受け、本宮市職員の超過勤務等に関する取扱規程への委任規定を設ける。

問 早出遅出勤務の実績は。

答 希望した職員はいない。

請願審査結果

請願第1号「教職員の長時間過密労働の解消にむけ意見書提出を求める請願書」については、平成31年1月25日に中央教育審議会から文部科学大臣へ提出された答申において「一年単位の変形労働時間制」の導入について提言されているが、教職員の職務実態に合っており、更なる業務の多忙化が懸念される。教職員の長時間過密労働の解消には、国の責任による教職員定数の抜本的な改善が必要であるとの説明を受け、「本市においても様々な取り組みがなされているが、根本的な解決に至っていない。国の責任による抜本的な改善が必要である。」とした賛成意見があり、採決の結果、採択すべきとの意見で全委員が一致し決定した。

現地調査

高木地区公民館建設現場と旧高木地区公民館の解体現場の現地調査を実施した。

生活福祉常任委員会

生活福祉常任委員会には、本宮市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例が付託されました。主な審議内容は、次のとおりです。

本宮市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正

資金貸付時の利子率は

説明 災害弔慰金の支給等に関する法律施行令の一部を改正する政令の施行に伴い、所要の改正を行うもの。

問 災害援護資金貸付時の利子率は。

答 東日本大震災以前は、3%の利子率であったが、震災以降、特例措置として、1.5%の利子率で貸付を行っている。

所管事項調査

具体的な目標は

説明 本宮市第2次男女共同参画基本計画について、説明をする。

問 公的分野における女性の社会進出に向けた具体的な目標は。

答 2023年度までに、各種行政委員の男女比の割合をそれぞれ40%以上とすることを目標とする。

現地調査 ため池放射性物質対策工の現地調査を実施した。



▲放射性物質対策工事中の重石池
（高木字重石地内）

産業建設常任委員会



▲増強している戸崎排水ポンプ場
(高木字戸崎地内)

産業建設常任委員会には、本宮市地域交流センター指定管理者の指定のほか、議案3件と陳情1件が付託されました。主な審議内容は、次のとおりです。

本宮市地域交流センター
指定管理者の指定

指定管理者の選定基準は

説明 本宮市地域交流センター指定管理者について公募を行い、審査会を経て管理者を選定した。

問 指定管理者の選定の基準は。

答 採点にあたって適否の基準は設定していないが、今回の審査においては、平均で80点を超過しており、適当であると判断した。

陳情審査結果

陳情第1号「公共建築物等への瓦屋根仕様の採用および木造住宅の耐震補強改修時の屋根瓦葺替えについての陳情書」については、市の公共事業において瓦屋根の採用実績もあり、改めてすべての施設に瓦屋根を採用するのではなく、施設ごとの状況も勘案しながら判断すべきであるとの見解から、不採択とすべきと全委員が一致し、決定した。

現地調査

高木地区戸崎排水ポンプ場増強工事整備箇所現地調査を実施した。

広報広聴活動の先進地を視察 広報広聴委員会



▲成田市議会での研修の様子

1月10日に、千葉県成田市において、議会の広報広聴活動について、調査を行った。

成田市議会では、主な広報活動として、議会だよりの発行、議会報告会、高校生との意見交換会の3つを実施している。

まず議会だよりの発行についてだが、A4版フルカラーで年4回発行している。特徴的な取り組みとしては、議会だよりの表紙にAR技術を取り入れ、専用のアプリで表紙を撮影すると、写真のスライドショーを見ることが出来る。また、自治体情報発信アプリ「マチイロ」や電子書庫「ちいき本棚」を活用し、電子版の配信も行っている。

二つ目の議会報告会だが、成田市議会では議会基本条例に開催することが定められおり、年に1回開催している。

前半に常任委員会による報告、後半に複数のグループに分かれての意見交換を行う。意見交換では、テーマに沿ったものと、フリートークを行っており、求められた際には、個人の意見や考えを述べても良いこととしている。開催日は土曜日または日曜日としており、午前と午後2回に分けて実施している。

三つ目の高校生との意見交換会だが、これは選挙権年齢が18歳以上に引き下げの法改正を受けて、平成28年度から実施している。成田市内に5校ある高校から、生徒を数人招き、議会棟の見学や議場でのクイズを行った後、意見交換を行う。これには、全議員が参加する。特にテーマは設けず、参加する生徒に事前に議会に関するアンケートを実施し、それをもとに意見交換を行う。参加した高校生からは、議会棟に入ること自体が刺激になると好評を得ており、議員からも自分たちでは気付けない視点の意見が聞けるということ为好評である。

議会の広報広聴活動は、市民の皆さんに議会に興味を持っていただくための重要な活動である。今回の視察研修で学んだことを生かし、議員と市民とが、もつと気軽にコミュニケーションがとれるよう、今後も本市に合った、よりよい広報広聴活動を模索していく。

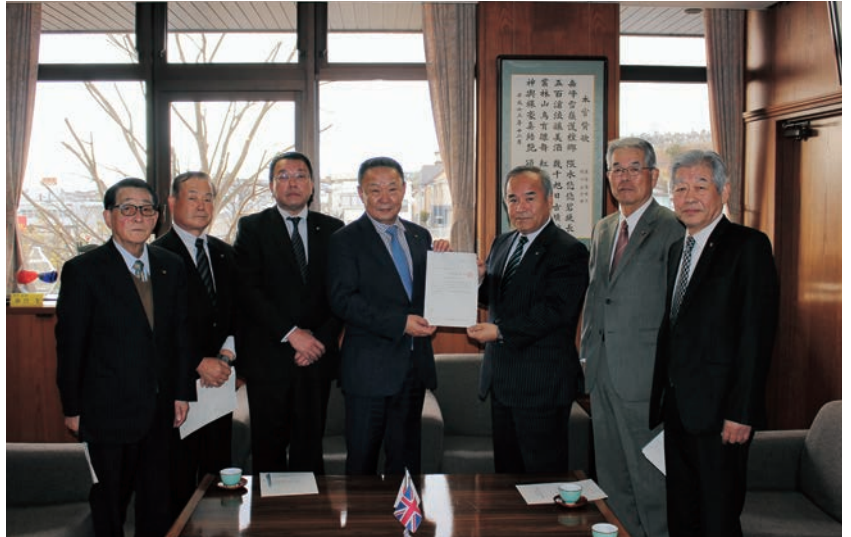
意見・要望への対応をお知らせします

昨年11月5日、6日、7日に開催した市民との意見交換会でいただいた皆さんの意見・要望を、広報広聴委員会で「市長に伝えるもの」と「議会にて対応するもの」に精査分別し、2月21日の全員協議会で対応方針を決定しました。

市長に伝えるもの

市長に伝えるものは、市民の率直な意見として2月21日に市長に提出しました。内容の一部をご紹介します。

市長に伝えるものの詳細は、本宮市議会のホームページに掲載していますので、ご覧ください。



本宮第一中学校区

・他の自治体では、電子黒板やタブレットの導入がだいぶ進んでいると聞いているが、市でも力を入れて取り組んでもらいたい。

・図書館は白沢地区にあるが、他の地域にも図書館で勉強するとか、人が集まって意見交換が出来るような場所があれば、地域の賑わいにつながると思う。

・街路灯や防犯灯が必要な地域は、一つでも多く整備してほしい。

・市から避難準備、避難勧告、避難指示があった場合、避難するようになっていくが、徹底されていないので独自の考えで行動してしまう傾向がある。避難場所を含めて徹底してほしい。

・賑わいの創出は長年の課題で、みんなで意見を出し合い進めるべき。農業も特産品をどう開発するか、時間がかかっても取り組むべき。

・空き家対策と人口増加を考えて、空き家を借り上げ、子どもがいる転入世帯にあっせんするような、補助を含めた検討をしようか。

本宮第二中学校区

- ・幼稚園を3歳児から通えるようにはできないのか。
- ・子育てしやすい環境ではあるが、学力が低い状況だ。学習塾も多くはない。学力向上対策に力を入れるということであれば、放課後、希望者に補習をやるとか、塾に頼らず学力向上が図れないか。
- ・みずきが丘の街路樹に、交通に支障があるものや根が盛り上がっているものがある。市に話したら木は切れないということであった。支障がある場合には切れるようにできないのか。
- ・市は水の災害対策には万全を期しているが、風の災害対策はしっかりできているのか。いざという時、学校の体育館が避難場所になる。体育館へのエアコンの設置について、今後検討してはどうか。
- ・市にはプリンス・ウィリアムズ・パーク、しらさわグリーンパークなどの施設がある。夏の利用の際、仮設住宅取り壊し工事のため駐車場がなく、路上駐車等が多かった。その際に道路脇の草等の管理の悪さが目立った。PRしている中、不評が心配される。

白沢中学校区

- ・待機児童ゼロと言っても、実際に入れない人がいるのでこれらの解決をしてほしい。
- ・保育士の人数確保はどうなっているのか。
- ・防災行政無線についてお尋ねする。このところ新潟県で子どもが殺されたり、福島市で刃物をもって歩いているなど、不安なニュースが報道されている。私達子どもの保護者には学校から知らせがあるが、周囲の人には伝わらない現状である。防災行政無線は家の中でも外でも聞こえるので、安全安心のためにも早期設置をお願いしたい。
- ・積雪により樹木が倒れて道路をふさいでいて困る。また、日陰で春まで雪が解けない。地域で伐採するよう通達があるが、高齢化によりむずかしい。樹木の処分を市の方で援助してほしい。
- ・県道本宮・三春線を明るくしてほしい。高校生の通学路であり、暗くて困っている。もっと明るくしてほしい。
- ・市は工業団地をつくるが、農業団地はつくらない。稲沢地域に市営農場をつくれれば、これから農業をやってみたい人が稲沢地区の人に限らず、ほうぼうから人が集まると思う。

議会にて対応するもの

「市民との意見交換会」の土日開催を検討

議会にて処理するものは、広報広聴委員会で協議し、議会として対応するものと個人で対応するものに振り分けを行い、議会として対応するものについて全員協議会で決定しました。内容をご紹介します。

●開催が平日の午後7時というところで、お母さん方がなかなか出て来られない。

●開催日の設定を土曜日、日曜日の検討をお願いする。

↓平日や土曜日・日曜日の日中の開催を検討する。

●市民の意見を本当に聞こうとするなら、年に一度ではなく開催すべきでないか。

↓意見交換会の回数は増やさず、現状のまま、どうしても多くの意見を聞けるのか検討する。

●お母さん方の意見を聞こうとするなら、学校の参観日に出向いて行って聞いてはどうか。要請があった場合議員は出向けるのか。

↓授業参観などの学校行事に議員が自発的に赴いて、意見交換をすることはできないと考える。PTA等からの要請があれば応じることはできる。

●若者向けの取り組みとして、インターネット等で気軽に意見交換、意見集約ができないか。

↓市議会のホームページに、本市のホームページの意見投稿フォームへのリンクを作成する。

郷土に関するコーナー



▲しらすわ夢図書館



▲中央図書館図書室

平成29年度の要望はこのように対応されました。(一例)

図書館で議事録が閲覧可能に

●議事録、予算書、決算書がすぐに見られるように、公民館に市民コーナーを作って置いてほしい。市役所で閲覧できるが、17時以降は見られない。議員が何をやっているか分かるようにしてほしい。

●一般質問では良いことを言っているので、質問や回答についても、議員ももっと努力をして「見える化」をしてほしい。

↓平成30年分からの本会議の議事録を、しらすわ夢図書館と中央公民館図書室で閲覧できるようにしました。

なお、予算書・決算書は以前から閲覧可能となっています。

本会議での討論

3月26日の本会議で、議案第21号について討論がありました。主な内容は次のとおりです。

議案第21号
平成31年度本宮市一般会計予算

平成31年度の一般会計予算です。予算の概要については、2ページから3ページに掲載しています。

反対討論

新年度予算の内容は、賛成する部分もあるが、いくつかの点において反対である。

まず、国際交流事業についてである。昨年度より増額され、なぜ英国ばかりなのか、という指摘もされている。英国派遣については、現在、派遣する中学生を選考している。こういった機会を全員に公平に与え、差別や選別をすべきではない。

同様のことが、市の子どもの学力向上についても言え、市独自の学力テストの実施は、差別や選別を助長するだけでなく、教員や子どもたちの更なる負担となる。

農業振興については、農業をやめる方が増えている中で、効率化や、大規模経営への支援だけでなく、農業をやめずに続けられるよう、家族農業への支援対策が必要である。

渡辺忠夫 議員

賛成討論

国際交流事業については、中学生の英国派遣や市民ツアーの実施、復興「ありがとう」ホストタウン事業を通じて、外国人と交流し、広い視野をもった人材育成ができるものと考えます。

学力向上については、学力だけでなく、道徳や体力も含めて、バランスの取れた予算であり、特に、検定料補助は、子どもたちに平等にチャンスを与えるものである。

農業対策については、まずは意欲のある農業者の経営体質の強化が重要であり、農地保全についても、地域で農地を守る取り組みを継続するべきと考える。

斎藤雅彦 議員

これら以外の議案等は14ページのとおり全会一致で可決されています。

3月定例会賛否一覧

会派名	みらい創和会						新風会					共	志誠会			無所属			
議員名	川名	渡辺	円谷	三瓶	石橋	渡辺	國分	川名	山本	三瓶	斎藤	渡辺	根本	後藤	橋本	伊藤	作田	国分	渡辺
議案番号	正勝	善元	長作	幹夫	今朝夫	由紀雄	義之	順子	勤	裕司	雅彦	忠夫	七太	省一	善壽	隆一	博	勝広	秀雄
議案第21号	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
請願第1号	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○

※○は賛成 ●は反対 欠は欠席 議長（渡辺由紀雄）は採決には加わらない

※会派名の略称は以下のとおり 共…日本共産党

議決結果一覧表

議案番号	議 案 名	議決結果
議案第 2 号	教育委員会委員の任命について	同 意
議案第 3 号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同 意
議案第 4 号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同 意
議案第 5 号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同 意
議案第 6 号	本宮市国際交流活動に従事する外国青年の給与等に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決確定
議案第 7 号	本宮市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決確定
議案第 8 号	本宮市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決確定
議案第 9 号	本宮市公民館条例の一部を改正する条例制定について	原案可決確定
議案第 10 号	本宮市水道事業布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	原案可決確定
議案第 11 号	市道路線の廃止について	原案可決確定
議案第 12 号	市道路線の認定について	原案可決確定
議案第 13 号	本宮市地域交流センター指定管理者の指定について	原案可決確定
議案第 14 号	平成 30 年度本宮市一般会計補正予算（第 8 号）	原案可決確定
議案第 15 号	平成 30 年度本宮市国民健康保険特別会計補正予算（第 5 号）	原案可決確定
議案第 16 号	平成 30 年度本宮市後期高齢者医療特別会計補正予算（第 3 号）	原案可決確定
議案第 17 号	平成 30 年度本宮市介護保険特別会計補正予算（第 4 号）	原案可決確定
議案第 18 号	平成 30 年度本宮市公共下水道事業特別会計補正予算（第 5 号）	原案可決確定
議案第 19 号	平成 30 年度本宮市工業用地造成事業特別会計補正予算（第 2 号）	原案可決確定
議案第 20 号	平成 30 年度本宮市水道事業会計補正予算（第 5 号）	原案可決確定
議案第 21 号	平成 31 年度本宮市一般会計予算	原案可決確定
議案第 22 号	平成 31 年度本宮市国民健康保険特別会計予算	原案可決確定
議案第 23 号	平成 31 年度本宮市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決確定
議案第 24 号	平成 31 年度本宮市介護保険特別会計予算	原案可決確定
議案第 25 号	平成 31 年度本宮市工業用地造成事業特別会計予算	原案可決確定
議案第 26 号	平成 31 年度本宮市工業用地資産運用事業特別会計予算	原案可決確定
議案第 27 号	平成 31 年度本宮市水道事業会計予算	原案可決確定
議案第 28 号	平成 31 年度本宮市公共下水道事業会計予算	原案可決確定
議案第 29 号	副市長の選任について	同 意
報告第 2 号	専決処分の報告について (専決第 1 号 (仮称) 地域交流センター建築主体工事請負契約の一部を変更する契約について)	
報告第 3 号	本宮市自主的財政健全化計画の平成 29 年度実施状況について	
発議第 1 号	教職員の長時間過密労働の解消にむけた意見書	原案可決確定
	閉会中継続調査申出書（議会運営委員会）	決 定
	閉会中継続調査申出書（各常任委員会）	決 定

請願・陳情一覧表

受理番号	受理年月日	付託委員会	件 名	提出者の氏名	審議結果
請願第 1 号	平成 31 年 2 月 19 日	総務文教	教職員の長時間過密労働の解消にむけ意見書提出を求める請願書	福島県教職員組合 安達支部 支部長 渡邊 ルリ子 紹介議員 渡辺 忠夫	採 択
陳情第 1 号	平成 30 年 12 月 4 日	産業建設	公共建築物等への瓦屋根仕様の採用および木造住宅の耐震補強改修時の屋根瓦葺替えについての陳情書	福島県中央瓦工業組合 理事長 鈴木 一也	不採択

一般質問

市政を問う

3月定例会の一般質問は、11名の議員が登壇し、3日間にわたって行われました。
1 議員2題、内容を要約してお伝えします。

16ページ：

■根本七太 議員

- 本宮駅舎を活かした市の創生は
- 児童虐待、本市の現状と対策は
- 三瓶幹夫 議員
- 仁井田・白岩線の路面凍結対策は
- 旧役場跡地（小田部）駐車場の利用計画は

17ページ：

■石橋今朝夫 議員

- 保育施設の事故防止対策は
- 登下校時の交通事故防止対策は
- 渡辺秀雄 議員
- 開発申請に対する市の取り扱いは
- 腐朽破損空き家等の対策は

18ページ：

■円谷長作 議員

- 待機児童をなくす対策を
- 元号改正による市民への影響は
- 国分勝広 議員
- 財政基本計画を作成すべきでは
- 兼谷平4号線の一部拡幅を

19ページ：

■齋藤雅彦 議員

- 広域連携中枢都市圏の取り組みは
- LED化イニシャルコスト補助は
- 渡辺善元 議員
- 定住奨励金の利用実績は
- 待機児童への対策は

20ページ：

■川名順子 議員

- 骨髄提供者に助成制度創設を
- 連帯保証人について条例改正は
- 三瓶裕司 議員
- 商業の活性化に対する支援策は
- いじめ・不登校・虐待への対応は

21ページ：

■渡辺忠夫 議員

- 国民健康保険税の負担軽減を
- 国連の「家族農業10年」とは



▲看板設置だけでなく路面凍結対策を

問 仁井田・白岩線は、冬期間の積雪により、凍結時通行困難箇所となることから市民より危険な箇所として指摘されている。「凍結時通行困難迂回願います」の案内看板では済ませられない道路であり、今後の対策は。

答 路面凍結対策として、急勾配、急カーブの区間に、道路の路面に縦溝を刻むグルーピング工法を施工し、道路パトロール等を強化して、路面状態によっては融雪剤の散布を併用しながら、円滑な交通の確保に努める。

問 仮設住宅が撤去され、以前の駐車場になる。県道本宮・常葉線沿線の利便性の良いところで、役場庁舎があり大変にぎわった場所である。白沢地区の定住促進策として、イターン、Uターン者向けのゲストハウス整備構想に取り上げては。

答 白沢地区をどう生かしていくか、小田部の地についても有力な候補であると考えられる。第2次総合計画に向けて、しっかりと有識者の皆様方や地域の方々と意見を交換して進めていきたい。

その他の質問

- ・高齢者福祉の在宅支援サービスは
- ・ふれあい広場の管理等はどうなっているか



問 仁井田・白岩線の路面凍結対策は

答 縦溝を刻むグルーピング工法を施工

三瓶 幹夫 議員

問 旧役場跡地(小田部)駐車場の利用計画は

答 どのような活用が良いか検討する

問 街中の賑わいづくりや、駅舎を利用しての観光増加へ向けた取り組みは。また、これらを実現するために、東西駅舎周辺の駐車場確保に向けた取り組みは。

答 第一期、第二期事業で本宮駅東口・西口広場等のハード面の事業を進めている。賑わいづくりにには、施設を生かしたソフト面の事業が必要。相乗効果に期待している。駐車場については、機械式ゲートを導入、3か所の駐車場を整備し万全を期したい。

問 増加する児童虐待、本市の現状と対策は。また、児童相談所に寄せられる他事案と対策は。

答 本市の現状は、5年間で7件12人が被害を受けている。対策として、幼稚園、保育所、学校、児童相談所、警察等関係機関と連携し対応する。未然防止として、スクールソーシャルワーカーや家庭児童相談員を利用したい。他事案については274件あった。

その他の質問

- ・婚活サポーターの登録者数は
- ・婚活サポーターに期待するものは



▲現本宮駅舎。完成後は観光への活用を



問 本宮駅舎を活かした市の創生は

答 ハード・ソフトの相乗効果に期待

七太 根本 議員

問 児童虐待、本市の現状と対策は

答 関係機関との連携により万全を期す



▲道路標示をさらに目立つようにしては



問 保育施設の事故防止対策は

答 万全の態勢で臨むよう指示

問 登下校時の交通事故防止対策は

答 注意喚起は大変有効である

石橋今朝夫
議員

問 各市町村の認可保育所について、国が定めた事故防止と事故発生時の対応について、ガイドラインの内容を周知し安全対策の徹底を求めているが、本市では福島市での事故発生後の対策指示をどのように行ったのか。

答 市内の公立と私立の認可保育所では、国が作成した「教育・保育施設等事故防止及び事故発生時のガイドライン」に基づき、改めて事故防止のチェック体制や事故発生時の対応について、直ちに各施設の状況を確認し、万全の態勢で臨むよう指示した。

問 登下校の安全を守るため、道路標示で児童、生徒、歩行者の安全を確保するため、ドライバーには横断歩道で歩行者優先の徹底、早めの減速を促すため、児童をモチーフにしたイラストや黄色い目立つ色合いで、もっと手前から表示して

答 登下校時の児童、生徒を交通事故から守るため、注意喚起は大変有効であると認識している。表示する位置を、横断歩道の手前に歩行者優先であることを表示する等、デザインの設定を含め、警察署等の関係機関と協議を行い、整備を進めていきたい。

その他の質問

- ・保育所などの働き方改革は
- ・高齢者の安全対策は



問 開発申請に対する市の取り扱いは

答 指導要綱に基づき協議を行う

渡辺 秀雄
議員

問 土地の開発の申請窓口は市にあると思うが、申請に対して関係部署の協議や隣地同意等の事務処理では、市はどこまで関わっているのか。また、内容等に問題があった場合にはどのような対応をしているのか。

答 申請に対しては、市の開発指導要綱に基づき、市の関係各担当課と協議を行い、同意を得て進達等を行うこととなる。

問 腐朽破損空き家等の対策は

答 実態を把握しながら対処する

問 住宅土地統計調査によれば、空き家の約4割は腐朽破損のある状況とされている。適切な管理が行われないことで、今後、安全性、公衆衛生の悪化、景観の阻害など多岐にわたる心配されるが、空き家等対策計画においてはどう取り組むのか。

答 空き家の把握は、水道の使用状況や住民異動届の状況などの情報をもとに行っている。生活環境上、悪影響を及ぼしてくる部分については、そのうち危険性が出てくるので、全体の空き家の実態を把握しながら対処していきたい。

その他の質問

- ・首都圏自治体の関連施設の誘致は
- ・本宮ブランドづくりの取り組みは



▲土地の開発指導は適切に



▲道路を拡幅し、安全の確保を

問 本宮市第2次総合計画基本構想が提示されたが、同時に財政基本計画も提示すべきではないのか。また、東西自由通路建設と本宮駅西口広場建設の借入金返済計画、県振興基金からの借入金返済計画も市民に提示すべきでは。

答 平成33年に新たに財政に関する計画をつくる考えである。駅周辺整備事業の借入金返済が重なる時期は、平成37年から平成44年の8年間で、駅周辺整備事業の借入金返済が始まるまで、県振興基金の繰り上げ返済を行い、駅周辺整備事業の返済の負担にならないよう進めていきたい。

問 県道本宮・熱海線と兼谷平4号線の接続部分を県道の歩道改良工事に合わせて、市道の狭い部分を拡幅し、市道の利用者である市民の安全・安心の向上を図っていくべきでは。

答 現在、用地の協議に入っている状況で、歩道が民地の方に広がっていくという話もある。県との協議を進める中で、県と一緒に用地交渉し、協力いただけるような形で進めていければと考えている。

その他の質問

・市所有の遊休地の売却方法は



問 財政基本計画を作成すべきでは

答 平成33年に新たな計画をつくる

国分 勝広
議員

問 兼谷平4号線の一部拡幅を
答 県との用地協議に入っている



問 待機児童をなくす対策を

答 保育士を確保し待機児童なくす

円谷 長作
議員

問 新年度スタート時の幼稚園、保育所の定数と入所希望児童数は。2月の夕方のテレビ放送で、本宮市の待機児童数が報道された。4月以降に母親が働きに出る等で保育を希望された場合の待機児童の対応はどうするか。

答 4月1日の公立保育所や認可保育所6施設の定員は605人、入所見込み数は573人である。幼稚園は、定員数は540人、申し込み数は306人である。ハローワーク、広報紙、職員の友人・知人や大学等と密接な連携を図り、待機児童対策として保育士を確保していく。

問 元号改正に伴い、印刷物やシステム改修などが発生する。万全な体制はできるのか。
答 また、元号改正に伴い、5月の連休が10日間になる。医療機関、水道工事業者、ごみ収集や市の施設の運営等市民生活への影響をどう周知するか。

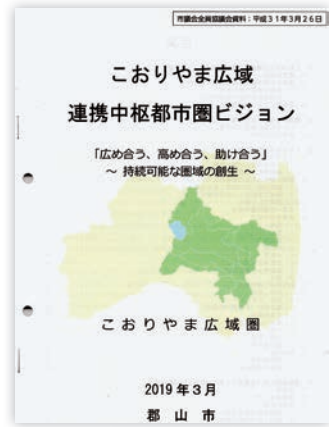
問 元号改正による市民への影響は
答 市民生活が困らないように周知する

その他の質問

- ・市所有の不動産の活用と処分の方針は
- ・平成31年度の施政（予算編成）方針について



▲待機児童が出ないように対策を



▲広域圏で費用負担を



問 広域連携中枢都市圏の取り組みは

答 スモールスタートを進めていく

齋藤 雅彦
議員

問 高齢者や交通弱者の移動手段の確保や、利用しやすい交通網形成による利便性の向上を図る取り組みは。また、広域圏並みに利用されている市の公共施設は、利用料金で賄いきれない維持管理費や改修費の負担を広域圏の立場で検討しては。

答 圏域自治体における鉄道、路線バスをはじめとする地域交通の課題について調査を行い、利便性の高い公共システムになるよう協議する。また、連携事業は施設の有効活用と交流人口の増加を図るもので、維持管理費等は協議していない。まずは、スモールスタートで進める。

問 左岸築堤により、堤防側の家屋が全部新しい防犯灯を住民の方に費用をいただき新たに設置している。管理が難しくなっている。組合や町内会、街路灯や防犯灯のLED化にかかるコストを補助しては。

答 新年度から計画的に市管理の防犯灯のLED化を行うことにしている。蛍光灯からのLED化は高額で、今後、行政区、防犯協会や街路灯組合が設置している防犯灯のLED化に対する補助を検討する必要があると考えている。

問 LED化イニシャルコスト補助は
答 今後、補助を検討する必要がある

その他の質問

- ・地域交流センターに移住サポートセンター設置は
- ・地域活性化およびにぎわい創出拠点の取り組みは



問 定住奨励金の利用実績は

答 奨励金は有効に活用されている

渡辺 善元
議員

問 本宮定住促進奨励金の利用実績は。また、平成29年、30年と申請件数が伸びているが、行政として現状をどのようにとらえているか。

答 宅地奨励金として、平成30年度2月末で47区画分を交付した。福島県の真ん中で、地理的な要因、交通網の整備、子どもを安心して育てられる環境、さらに、工業用地の集積等で利便性の向上が図られている。定住促進奨励金の活用で、利用者の増加、定住者の増加が図られている。

問 待機児童への対策は

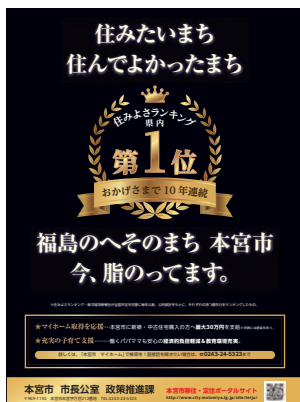
答 協定を結んだ大学との連携強化を図る

問 平成30年度、待機児童が52名発生したが、その要因は。また、保育士の確保が難しい現状であるが、対策はどのような進めているのか。

答 待機児童の発生は、年度中に育児休暇を取得していた家庭が、4月以降育児休暇満了により申し込みがあり発生した。協定を結んだ大学との連携強化を図りながら、今後粘り強く保育士の人材確保に努めていく。

その他の質問

- ・白沢地区の大字単位の戸数、人口の増減は
- ・多世代同居の良さと対応策は



▲今後も定住促進を積極的に進めるべき



▲商店街を活性化するための支援が必要

問 中心市街地および市内全体の活性化、にぎわい創出のため、商工業、サービス業が、事業拡大や持続していける支援策は。また、大型量販店などと違った、個性的で新たな発想の事業、商業、サービス業などの新規事業に対する支援の考えは。

答 第2次総合計画では、商業の振興、商店街の機能強化を掲げており、商店街に対する支援は必要であると認識している。新年度は、商工会と協議を行い検討する。

問 教育振興計画に、「子どものサインを見逃さない」と記載してある。また、第2期地域福祉計画にも、虐待防止の取り組みがある。各部署にまたがる問題であるが、いじめ、不登校、虐待に対する取り組みは。

問 いじめ・不登校・虐待への対応は
答 アンケート調査で状況を把握

答 スクールソーシャルワーカー2名体制を継続して、児童・生徒が良い環境で生活できるよう関係機関と連携していく。各学校等で子どもたちの状況をアンケート調査して、生徒指導委員会等にやりあげて子どもたちの状況を把握している。

その他の質問

- ・英国交流推進事業の今後は
- ・定住促進事業について



問 商業の活性化に対する支援策は
答 商店街の機能強化は必要

三瓶 裕司
議員

問 白血病を公表した池江璃花子選手に対する激励や気づかいの声が国内外から寄せられ、献血やドナー登録する人が増えている。ドナー休暇のない骨髄提供者の休業補償を行い、経済的負担の軽減を図り、骨髄等の移植推進に役立てるべきでは。

答 ドナーの健康診断、骨髄提供のための通院や入院など約一週間程度が必要である。入院等の費用はかからないが、ドナー休暇などの補償がないため、無給となつてしまい、経済的負担から断念する方もいる。提供を待ち望んでいる方のためにも、調査に取り組む。

問 連帯保証人が見つけれず、公営住宅の入居を取り下げた例があり、国土交通省は、公営住宅管理標準条件というひな型の条例を見直し、連帯保証人を必要としないことを通知した。本市の対応と保証会社についての取り扱いは。

答 連帯保証人は近隣の市町村に居住している方との条件もあり、緩和できないが、今後、連帯保証人の確保が困難になると予想されるため、保証会社の採用について、今後調査・研究しながら対応していきたい。

その他の質問

- ・住宅用火災警報器の助成は
- ・生徒が意欲的に英語を学べる環境づくりを



▲公営住宅に入居しやすくなるよう連帯保証人の緩和を



問 骨髄提供者に助成制度創設を
答 創設に向けた調査に取り組む

川名 順子
議員

問 連帯保証人について条例改正は
答 今後、調査・研究していく

第1回臨時会

本宮第3保育所 建設工事請負契約を可決



▲現在の本宮第3保育所

1月17日に第1回臨時議会が開かれ、議案1件と報告1件が上程されました。議案は、本宮第3保育所建築主体工事請負契約についてであり、審議の結果、全会一致で可決しました。

本宮第3保育所建築主体工事請負契約は、総合評価一般競争入札により、菅野建設工業㈱と契約を締結するもので、契約金額は3億9,744万円です。

問 建築主体工事と分離して入札を行った、電気設備工事と機械設備工事のそれぞれの契約金額はいくらか。

答 電気設備工事は㈱佐々木電気商会が落札し、6,480万円で、機械設備工事は㈱小山設備が落札し、8,748万円でそれぞれ契約を締結した。

国民健康保険税と協会けんぽ保険料の比較

(単位：円)

単身世帯(年収240万円)の場合			4人家族(年収280万円)の場合		
国保税	協会けんぽ保険料		国保税	協会けんぽ保険料	
	うち均等割・平等割			うち均等割・平等割	
198,000	73,800	136,320	300,500	146,560	163,584

加入世帯の平均所得

国保世帯	協会けんぽ世帯
1,700,000	3,300,000

問 国民健康保険税はほかの医療保険制度に比べて高いので大変であり、「協会けんぽ」並みにならないかということだが、その差はどのくらいか。また、国保にしかない、平等割、人数割を免除するというものではないか。

答 4人家族で年収280万円の場合、国保が30万500円、協会けんぽが16万3584円。現在、国保税は所得割と平等割で算定している。協会けんぽは年収に日数を掛けて計算する。国がしっかりと安心して国保が受けられる体制の堅持をするべきと考える。

問 「家族農業の10年」は世界的に見ても8割が家族経営をしている。大や化学肥料による汚染が広がり、食の安全などが問題になってきたことよって、家族経営を大事にしなければと決められた。どう受け止めているか。

答 国連総会において、家族農業の年と定めた。持続可能な社会を実現するということから、家族農業に施策の推進を求めたもの。家族農業という持続性のある形態が注目されている。地域農業を支える重要な役割を担っていると考えている。

問 国連の「家族農業10年」とは

答 地域農業を支える重要な役割担う

問 国民健康保険税の負担軽減を 答 安心して国保が受けられる体制

渡辺 忠夫
議員

その他の質問

- ・無償化による保育需要増で待機児童の心配は
- ・国の経済対策の評価は



3月定例会を傍聴された方は32人でした。今回はその中から糠沢宏夫さん(本宮字南町裡)に傍聴の感想をお聞きました。

議会傍聴感想

毎週金曜日の10時から、本宮字下町のレストラン・ロスモスのお店の中をお借りして、健康意識の高い女性が30人ほど集まって、「100歳まで生きる」を目標に、「三平です!」のDVDに合わせて100歳体操を続けております。いつもは、食べて、おしゃべりが大好きなおばさまたちの集いですが、何を思ったのか、ある日唐突に議会傍聴を提案されてちょっと驚きました。

そんなわけで、議会開催の当日、総勢21名で最上階の傍聴席に鎮座することになりました。折しも、当日の一般質問者は、本宮市議会議員19名中紅一点の女性議員でした。驚きました。広範囲な市政全般にわたる質問も細部に渡り射た内容で、女性ならではの気配りされた質問は、声も明晰で、よく勉強しているな、という印象でした。もっと、こんな熱心な女性議員の多い議会ならば、素晴らしい市政が開かれるのではないかと思います。

私たちの同行者の中に、足の不自由な方がいましたが、車いすで最上階の傍聴席までの階段に差し掛かった時、市の若い職員の方々が皆さんで力を合わせて車いすごと傍聴席まで運び上げてくれました。暖かい市役所を感じました。この場を借りてお礼申し上げます。



糠沢宏夫さん

こんにちは!

今号の表紙は、糠沢幼稚園で撮影しました。撮影した写真の一部をご紹介します。ご協力ありがとうございました。



真剣になにをつくるのかな?

お人形、じょうずにつくれたね!

次回6月議会定例会は

6月4日に開会予定です。
請願・陳情の締め切りは
5月23日(16時まで)です。

※なお、正式な日程は議会運営委員会で決定します。

問い合わせ TEL24-5435

発行責任者	議長	渡辺由紀雄
広報広聴委員会	委員	渡辺善元
	副委員長	国分勝広
委員	齋藤雅彦	
委員	石橋今朝夫	
委員	三瓶幹夫	
委員	橋本善壽	
委員	後藤省一	
委員	渡辺秀雄	

あとがき

本宮市3月定例会は、市民の皆さんが納める税金や地方交付税交付金等を原資としたお金を、市長がその使い方を予算化して議会に提出します。議会としては、その予算の中身が市民の福祉の向上に寄与するのか、使用方法が妥当なのか等の観点から、審査を行い決定するため、予算審査特別委員会を設置させていただきました。4日間にわたり審査をさせていただきました。質疑を通じて予算に賛成するのか、修正するのか、反対するのかを決定する議会として、大変大事な仕事でございました。市民の皆さまにも、ご理解とご協力を賜りまして、ありがとうございました。

今回の定例会は、平成最後の議会でありました。「令和」の時代も、市民の皆さんと一緒に、我々議員も頑張って参りますので、よろしくお願ひ申し上げます。
(後藤)